

令和2年度 事業者向け自己評価表 アンケート（職員用）

事業所名：放課後等デイサービス リバーサイド結ぶる

項目	番号	チェック項目	工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	1	利用定員と指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	現状を精査し、不足分は公園活動プログラムで補う方針としている。 室内でも、適度な運動ができるよう、室内遊具の活用も積極的に行っている。
	2	職員の配置は適切であるか	配置基準は満たしているが、ご利用者様の障害特性に応じてマンツーマン対応が必要とされることが多い。スタッフのスキルアップを目指します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	段差は無く、トイレには手すりが設置してあります。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	前日の支援での振り返りを朝礼時に行い、問題点の周知を行い、対応や改善策をスタッフ全員で話し合います。
	5	保護者等向け評価表の活用等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	評価表のみならず、家庭訪問、連絡帳、電話等で常に保護者及び関係機関や学校等、連携を図っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	公開しています。
	7	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	コロナ感染症の拡大により、地域や行政より案内されている研修に参加は困難な状況でした。そのため必要に応じて事業所内研修を開催しています。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	保護者との定期的な面談や家庭訪問等でアセスメントを行い、関係機関や学校等からの情報も参考にし、支援計画を立てています。
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	アセスメントツールの確認・見直しは随時行っています。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	担当者を中心に、チームで話し合い立案を行っています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	個々の伸びしろを観察した上で、興味深く飽きないプログラムを検討するように心がけています。
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	特に学習については個別対応をしています。グループ遊びや公園は、小グループで行なっています。
	13	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎朝の朝礼と支援開始時間1時間前にスタッフ間で確認しています。
	14	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	当日の活動要点をメモにし、担当スタッフが支援日誌を作成、翌日の朝礼時に問題点等について共有しています。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	連絡帳・支援日誌等の確認を必ず管理者及び児童発達支援管理責任者が行い、朝礼時及びミーティング時、話し合いをしています。
16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	個別支援計画の見直しは最低年2回実施し、そのために保護者と面談・家庭訪問を行っています。またスタッフ其々の見解を含め、検討会を行っています。	

項目	番号	チェック項目	工夫している点・改善目標など
関係機関や保護者との連携	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	直接支援に携わり、利用者様の状況に詳しい職員が担当し情報交換・周知を行っています。
	18	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	送迎時や電話連絡、お手紙等で情報交換及び共有を図っています。
	19	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、こどもの主治医等との連絡体制を整えているか	現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れをしていません。
	20	就学時に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	保育園・幼稚園の担任、相談支援事業所や区の福祉課、保護者との情報共有や支援の統一を行っています。必要に応じて、保育園や幼稚園の訪問も行います。
	21	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	相談支援員や保護者、その他福祉サービス事業所からの要請は、必要に応じて対応しています。
	22	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	参加しています。
	23	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳や送迎時、また面談・家庭訪問等で保護者と連絡を密にし、情報共有を行っています。
	24	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	主に送迎時や家庭訪問等でペアレントトレーニング等の支援を行なっています。
保護者への説明責任	25	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に重要事項と共に確認をしながら説明しています。
	26	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	日頃より保護者との信頼関係を大切にすよう、職員に周知しています。相談時はいつも受け入れ、真摯に対応しています。
	27	父母の会の活動を支援したり、保護者会等の開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	連絡帳を中心に、随時、事業所内面談や家庭訪問を行っています。年に一回以上保護者会を行っています。令和2年度はコロナの為開催できませんでした。
	28	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情や申し入れについては、迅速にスタッフへの周知を行い、解決に向けて対応を行っています。
	29	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月配布している利用要望書に合わせて、状況の報告や行事の案内を記載しています。
	30	個人情報に十分注意しているか	個人情報のファイル等は、鍵付きロッカーに保管し、取り扱いについては注意をはらっています。
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮はしているか	児童及び保護者の理解を得られるよう、分かりやすく丁寧に意識した伝達を心がけています。
非常時等の対応	32	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルの整備は随時行っています。事務整理が多いため、遅れがちになる部分もありますが、より分かりやすいものになるよう、心がけています。
	33	非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	一斉訓練はなかなかできませんが、日頃より、利用者様に災害時の心得等、活動の中に取り込むようにしています。
	34	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	現在は特に、事業所内研修で虐待防止に努めています。スタッフ間の風通しの良いコミュニケーションを心がけ、問題提案等行い話し合っています。
	35	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	「行動制限の同意書」または個別支援計画の「行動面での安全確保」の欄に、必要に応じて個々への対応を記載しています。
	36	植物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時にアレルギー情報について確認し、職員間で情報共有を行うと共に対応車利用の際は必ず確認を行うようにしています。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット発生時に、記憶の新しいうちに内容を記入し、その場でスタッフ間で周知を行っています。さらに、朝礼時必ず確認し、再発防止に努めています。